

にこにこ家族新聞

滑川市立西部小学校
令和元年10月1日

10月もあったかハートを広げよう！「あつまれ！にこにこ家族」

運動会では暑い中、たくさんの応援ありがとうございました。

さて、保護者の皆様には、日頃「あつまれ！にこにこ家族」の活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。西部小学校では、夏休みや9月にも「あつまれ！にこにこ家族」を実施しました。さすがに3回目ともなると、子供の中には、「手伝い」に対する意識が変わってきた子供や、手伝えることを探す子供が増えてきました。この調子で、もっともっと家庭にあったかハートが広がるといいですね。

こんなお手伝いもあります！

意外と多いのが、「何をしてもらえばいいのかな」と悩む保護者の方がおられることです。また、「さすがにこれは子供では無理かな」と、任せきることができない保護者の方もおられます。

子供は難しいことほど「やってみよう」という気持ちをもっています。余計に時間がかかったり、仕上がりがよくなかったりするかもしれませんが、是非、様々なことにチャレンジさせてあげてください。

まずはここから

ビギナーズお手伝い

- 頼まれたことを最後まで行う。
- お部屋の掃除機がけ。
- お風呂掃除。
- 弟や妹のお世話。
- 洗濯物を取りこむ。
- お風呂を洗って沸かす。
- 飼っている動物の散歩やお世話。
- ふだんしないところの掃除。

レッツ！チャレンジ！！

プロフェッショナルお手伝い

- 休みの日などに食事を家族分つくる（調理、後片付けまで）。
- 洗濯物を洗う、干す。乾いたら取りこんでたたむ。
- お米を計り、洗い、炊く。
- 「汚れているな」と思ったところを掃除する。
- いつも家の人が行っていることを何も言わずに行う。

素敵なメッセージが届きました（感想）！

子A・・・弟の面倒を見るのは大変だったけれどがんばりました。弟はとってもパワフルなので・・・。

保A・・・人の世話をすることはとても大変なことです。でも、人の気持ち分かるようになれば楽になりますよ。

人の気持ちを考えて行動する。そうすれば考え方や感じ方も変わる。勉強になります！！

子B・・・できない日が多かったので、もっとあったかハートを増やしたいです。

保B・・・自分では「できなかった」と言っていますが、自分が思っている以上にお手伝いをしてくれたと感じています。ありがとう。

家の人は子供のがんばりをちゃんと見てくれているんですね！「感謝の気持ち」伝わっていると思います！！

進んでできなくてもいいんです！

「あつまれ！にこにこ家族」を通じて、保護者の方からも多くの素敵なメッセージをいただいております。また、「頑張ってくれているね」「ありがとう」といったメッセージとは反対に、「もっと自分から手伝いに参加してほしいです」や「頼んだことしかお手伝いができません」というメッセージもたくさんいただいております。

さて、ここで一度立ち止まって考えてほしいのです。そもそも、「手伝い」とは、進んで行くことを「手伝い」と言い、頼まれて行う手伝いは「手伝い」と言わないのでしょうか。いいえ、どちらもとても素敵な「手伝い」です。このような活動（にこにこ家族）を続けていくと、つい知らず知らずのうちに「よい手伝い」と「悪い手伝い」という風に「手伝い」に優劣を付けてしまう場合があります。もちろん自ら進んで手伝いができれば、それは素晴らしいことです。頼まれたことでも「いいよ」と気持ちよく返事して、最後まで責任をもって手伝いができることも、とっても素敵ですよ。

進んで手伝いができなくてもいいんです。大切なことは、手伝いたいと感じたことや、人から頼まれたことに責任をもって最後までやり遂げることが大切なのです。

誰かの役に立とうと頑張る子供たちに、是非、保護者の方からも温かい言葉をかけてあげてください。